



認定調査 “ワンポイント・アドバイス”



（回覧）調査員の皆さんで共有しましょう！

確認印欄

今回も前回に引き続き、「認定調査を行う中で、今までに困った事や苦労した事」についての対応方法等をご紹介します。今年度も認定調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

◆困った事・苦労した事◆

- ✓ 買い物の件で「おにぎり」をコンビニで買えるので「自立」にチェックしたら、嗜好品だけの買い物なので「一部介助」と訂正された。能力を問うのでは？

「買い物」は「能力」ではなく「介助の方法」で評価する項目になります。ただし、調査員が本人の能力、生活環境、本人の置かれている状況等から総合的に不適當な状況にあると判断する場合には、その理由を特記事項に記載した上で、適切な介助の方法を選択します。

（テキストp176参照）

※なお、「おにぎり」は主食とも考えられますが、頻度や場面から考える必要があります。

- ✓ 火の不始末を記載する所がわからない

物忘れによって火の不始末がみられる場合は、4-12「ひどい物忘れ」に記載することが適当と思われれます。

- ✓ 重度の認知症で発語のない人。オウム返しになってしまう人。

3群の質問に正答できなければ、「できない」を選択します。3-1「意思の伝達」は、問いかけに対して意思を伝えられれば、その状況を評価します。合理性は問わず、手段も問いません。

- ✓ 4群をまとめて書くことが大変だった。

まとめて書かなくても良いですが、下記のように、まとめて書くと文章の量が少なくてすみます。2,3項目程度まとめるのが適当と思われれます。

例) 4-5.6 大声で同じ話をしつこく話すことが月1~2回ある。

【介護認定の状況】（H30.4. 2時点）

2月申請	467件のうち審査会の予定が決まっていない数	13件
3月申請	531件のうち審査会の予定が決まっていない数	185件

桐生市役所 長寿支援課 介護審査係（内線 394・395）